

荒川区教育委員会 殿

学校名 荒川区立第六瑞光小学校
校長氏名 佐野 実 公印

令和4年度教育課程について（届）

このことについて、荒川区立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重教育を基盤とし、生涯学習の視点に立って、心身ともに健康で国際社会に生きる人間性豊かな児童の育成を教育目標とし、目指す児童像を次の通り設定する。

『よく学び、仲良く 元気な 六瑞っ子』

- ・「よく学ぶ子」 主体的に課題に関わり、友達と協働的に追究・解決する児童
- ・「仲良く 元気な子」 感性豊かで、思いやりがあり、社会性に富んだ児童
心身ともに健全で、最後まで粘り強く取り組む児童

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

主体的な学び

- 学習指導要領に則り主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善を推進する。
 - 教育課程に位置付けた学校図書館の利活用により、興味や関心を広げ探究する力を育む。
 - タブレットPCや電子黒板等のICT機器を活用した教育活動を推進し、情報スキル及び情報活用能力の育成を図りながら、21世紀型能力を身に付けさせる。
 - 「荒川区小学校英語科指導指針」に基づいた英語教育の充実を図る。
 - 習熟度別指導や六瑞寺子屋の活用等、個に応じた指導法の工夫・改善を進める。
- こころとからだ
- 東京都教育委員会人権尊重教育推進校として児童の人権感覚を高め、思いやりの心や互いの人格を尊重する人権教育を進め、共生社会の基礎を培う。
 - 「特別の教科 道徳」の時間を要として教育活動全体を通じて、人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、思いやりの心や規範意識をもって互いの人格を尊重する豊かな感性や想像力を育む。
 - 人権教育の中核となる金管マーチングバンド活動を通して、認め合い励まし合い教え合いながら、目標に向かって力強く努力を続ける児童を育成する。
 - 特別活動においては、思いやりや人と関わり合う力を養うため、児童の主体的な活動の中でお互いの交流を図る。また、集団の一員として協力し合い、認め合う場面を数多く設け、自己有用感を高めるとともに自立心が育つよう指導を行う。

体験的な学習活動

- 教育課程全般においてSDGsの概念を踏まえ、学校パワーアップ事業などを活用し、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、確かな学力・豊かな人間性・健康や体力などを育む。
- 総合的な学習の時間を充実させ、地域安全マップの作成における地域環境教育、障がい者理解や心のバリアフリーに関する福祉教育、様々な人材を活用したキャリア教育の充実を図る。
- オリンピック・パラリンピック教育として、体力の向上を図るとともに、「学校2020レガシー」により自国に対する理解を基盤とした国際理解教育を進め、自分と異なる立場の他者理解を深める。

教師が育つ

- 校内研究やOJTを生かした校内研修を通し、人材育成を進め、教師の授業力向上を図る。
- 教師の事務作業の効率化を推進し、教師が児童と向き合う時間を確保する。

学校家庭地域

- 地域社会に開かれた教育を推進し、PTA組織との連携を図り、家庭の教育力を高める。
- 幼・保・小・中との連携を強化し、小1プロブレムや中1ギャップの解消を図る。

教育環境

- 感染症対策を確実に実行し、ICT機器とオンライン学習教材の活用により、新しい生活様式による学校教育を進めるとともに、家庭学習の充実を図る。
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を機能させ、子ども家庭総合センター等の関係諸機関や保護者との連携を図り、全ての子どもが安心できる環境を整える。
- 安全教育・防災教育を進め、日常的に危険予知能力や危機回避能力を身に付けさせるとともに、環境の安全確保に努める。